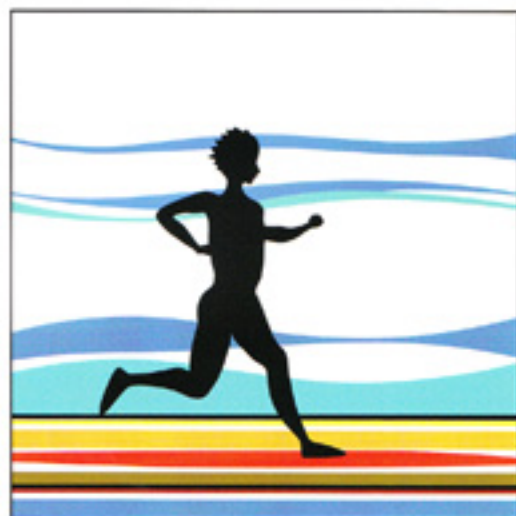


# 第19回 日本健康体力栄養学会 大会抄録集



会期:2012年3月10日(土)  
会場:神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

## 特発性側湾症における体操の有効性 (5)

○大塚乙衛 (おおつか いつえ) 大塚整体治療院

【はじめに】 今回は、重度幼児期側湾症60度2才女児の正常範囲6度に改善された症例を報告します。側湾症改善の結論としては、体幹の伸展と肋骨変形/隆起の改善により脊柱も改善できるということです。側湾症矯正具RHP I木型 (以下、RHP I木型) に重力解除、自体重を活用し、横臥、仰臥させる方法です。この改善証明により、従来治療法がなかった理学療法の新分野になると思います。  
※体幹伸展とは、体幹筋 (腹直筋、腹横筋、広背筋、脊柱起立筋) を同時に伸ばすことです。



A 60度後



B 60度前



C 6度後



D 6度前



E 60度



F 6度

聖隷佐倉市民病院 南院長  
正面レントゲン写真

【目的】 重度幼児期側湾症60度2才女児の改善のため体幹伸展・肋骨変形の改善を目指して当院治療方法下記3点を指導し、改善を試みた。(毎日、体幹を伸展させることが改善の結論です)

【方法】 側湾症治療は、揉まない、押さないのが原則です。

多くの子供達の改善をみている下記の方法を適用した。

① RHP I木型を家庭で毎日使用 (体幹伸展・肋骨変形の改善) 【写真G、H】

② 母子一体の体操 (そくわんエクササイズ) 【写真I】

③ 装具の使用、肋骨隆起改善、延長パッド補強による装具の改良 【写真J】

装具は成長を予測して随時点検、補正が重要です。



G 木型横臥



H 木型仰臥



I 母子一体体操



J 延長パッド装具

【結果】

重度幼児期側湾症60度⇒正常範囲6度に改善され、①脊柱も真っ直ぐに伸び肋骨変形も改善

【写真C、D】②レントゲンの証明【写真D、F】

「目的」通り体幹伸展と肋骨変形の改善により脊柱湾曲も改善されるという好結果を得た。

【考察】

① この改善は、体幹伸展の成果であり成長力を活用した方法です。

② RHP I木型を毎日自宅で使用し、毎日体幹伸展させ、すぐに装具を装着させたことです。

③ 脊柱保持のため体幹を鍛える体操を毎日したことです。(4才からは自発能動で行っています) この3点の相乗効果と思われます。2才児でも可能で安全性の証明です。今後は、側湾症改善を目指した研究・開発・指導・治療ができる専門の病院 (国立、都立側湾センター) が必要である。